

## 2018 年度 CERI クロマトグラフィー分析賞

日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会では、2018 年度より「CERI クロマトグラフィー分析賞」を創設し、本年 2 月より 9 月末まで候補者の推薦公募を行った。期日までに提出された推薦書を基に、2018 年度 CERI クロマトグラフィー分析賞選考委員会で審議した結果、株式会社島津総合サービス リサーチセンター 三上博久氏が 2018 年度 CERI クロマトグラフィー分析賞受賞候補者に選出され、10 月 30 日開催の液体クロマトグラフィー研究懇談会第 7 回運営委員会で承認された。

「CERI クロマトグラフィー分析賞」とは、その受賞規程第 2 条第 2 項に、「液体クロマトグラフィーを利用した研究分野で優秀な研究成果を挙げた者に授与する」と規定されている。今回の三上博久氏受賞における研究業績は、「誘導体化 HPLC 検出法の開発と装置化」である。三上博久氏は、1970 年代終わりから 1980 年代に掛けて HPLC の応用性を格段に広げる手法として研究が盛んとなった誘導体化検出法について、この研究分野の日本における牽引役の一人として重要な足跡を残された。その一つが、糖類の新しいポストカラム蛍光誘導体化法についての研究である。三上博久氏が考案・開発された方法は、実用性が高く、装置化も早かったため、様々な分野で広く普及するに至り、開発から 35 年以上経った現在でも世界で使用されている。加えて三上博久氏は、HPLC 及び LC/MS 分野における検出部門のエキスパートとして、学協会への貢献、最新検出技術の普及、次世代技術者の育成など数々の社会的貢献を果たしてこられ、CERI クロマトグラフィー分析賞に相応しいとして選考された。

液体クロマトグラフィー研究懇談会